

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習 I		
担当者(Instructors)	渡辺 弥生	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

本科目では卒業論文作成に向けて専門的な学びを深め、研究とは何か研究の方法を学ぶ。第1段階として講義形式で研究の基本を学び、次に文献検討などグループで研究テーマを決め発表まで行い第2段階として実践する。ゲストスピーカーによる専門的な講義時間を設ける。

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義形式からグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションと主体的な学習を行う。2回程度オンデマンドでの授業を予定している。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	ガイダンスでは進め方の確認 新しいメンバーの自己紹介を行う	<input type="checkbox"/>
第2回	看護、介護、保健について関心を深める	各自専門分野で関心のあるテーマについて発表し意見交換する	<input type="checkbox"/>
第3回	研究とは研究方法 1	研究の基礎を学ぶ 研究の目的 倫理的配慮について	<input type="checkbox"/>
第4回	研究とは研究方法 2	研究の基礎を学ぶ 研究計画 研究の方法	<input type="checkbox"/>
第5回	研究とは研究方法 3	研究の基礎を学ぶ 論文の書き方 研究発表の方法	<input type="checkbox"/>
第6回	外部講師による演習又は講義	外部講師による演習また講義の実施	<input type="checkbox"/>
第7回	外部講師による演習又は講義	外部講師による演習また講義の実施	<input type="checkbox"/>
第8回	フィールドワークの事前学習	医療や保健に関するフィールドワークの計画、事前学習	<input type="checkbox"/>
第9回	グループワーク 1	各自の関心ある文献からグループ分けを行いテーマを決める	<input type="checkbox"/>
第10回	グループワーク 2	グループワークを行う	<input type="checkbox"/>
第11回	フィールドワークへの参加	フィールドワークに参加し、グループワークを行う	<input type="checkbox"/>
第12回	プレゼンテーション準備	グループで決めたテーマの文献検討問題提起できるようなプレゼンテーション準備	<input type="checkbox"/>
第13回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションを行いグループ間で共有する 意見交換	<input type="checkbox"/>
第14回	プレゼンテーション 2	プレゼンテーションを行いグループ間で共有する	<input type="checkbox"/>
第15回	振り返り まとめ	前期の活動について振り返り、今後の展望についてディスカッションする。	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)

インターネット、新聞、図書館などの文献を検索し各回の課題に応じて各自事前学習を2時間行う。事後は時間内に行えなかった文献の読み込みなど2時間は学習を行う必要がある。

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)

文献検討の内容は各自まとめていくため適宜提出してもらい評価、指導を行う。

■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	研究の概要について学び発表し、互いに議論できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			10%	90%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 1. フィールドワークへの参加：課題に沿って参加し、その後の意見交換で意見を述べることができる。(10%) 2. レポート：テーマに沿ったレポートが作成できる。(40%) 3. プレゼンテーション：参加者に分かりやすい発表を行うことができる。(30%) 4. メンバーの発表に意見を述べるができる。(10%) 5. 参加姿勢 積極的に参加し、取り組むことができる。(10%)				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜文献検討していく	
2	山口瑞穂子 ひとりで学べる看護研究 照林社	
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜示す	
2		
3		
4		
5		